

1 審議会名	上田城南地域協議会
2 日時	平成30年6月21日 午前10時00分から午前11時50分まで
3 会場	城南公民館 2階多目的ホール
4 出席者	相田委員、井出委員、内川委員、小野澤委員、小林委員、関委員、竹内委員、田玉利貞委員、田玉治實委員、中村委員、羽田委員、堀内委員、松田委員、宮澤委員、柳澤委員、矢野委員、若林委員、渡辺委員
5 市側出席者	【事務局】村山城南地域振興政策幹、内藤地域内分権推進担当係長、西澤地域内分権推進担当主査、樋口地域内分権推進担当主事 【説明担当課】(建築指導課)平田課長補佐兼指導係長、若林指導係主査 (都市計画課)金井課長補佐兼調査計画担当係長、矢野調査計画担当主査、依田調査計画担当主事
6 公開・非公開	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 ・ <input type="checkbox"/> 一部公開 ・ <input type="checkbox"/> 非公開
7 傍聴者	0人 記者 0人
8 会議概要作成年月日	平成30年7月12日
協 議 事 項 等	
1 開会	
2 会長あいさつ	
3 報告事項	
(1) 「上田市立地適正化計画(案)」について(担当課：都市計画課)	
ア 担当課から資料を基に概要の説明	
イ 以下、意見質問	
(委員) 今後、人口減少が見込まれるのは理解しているが、安定して長く生活ができるということが重要なこと。身近に働く所があり、買い物する所があり、畑で農作物が作れるという複合的な場所が住みやすい環境ではないか。それを分けてしまうと、買い物難民といった問題が生じてしまう。従来 の反省すべきところは改善し、柔軟に考え、危機感を持ってやっていかなければならない。	
(担当課) 現在ある法的な規制も考えていかなければいけない。用途地域で居住するのは良い環境という考え方もあるが、第一種低層住居専用地域では商店が建ちにくいということが実際ある。昭和20年代から用途地域が出来上がり、少しずつ変化し今の形になっているが、用途地域を現状に合わせて変更していかなければならないと考えている。一部ではあるが、今年変更を予定している場所もある。	
(委員) 居住誘導区域から外れている用途地域はどのような弊害があるのか。	
(担当課) 居住誘導区域とそこを外れている用途地域については、特に変わりはない。立地適正化計画を策定しないと、国から補助金が交付されにくい状況になっているのは事実だが、区域内にしか施策を施さないということではない。	
(委員) 居住誘導区域に長年住んでいるが、昔から何も変わらない。中心市街地の住民と同じ市民税を納めているのに、周りが便利にならないというのはどうなのか。	

(担当課)人口が減少しスポンジ化している地区もある。そのような状態になってしまうのも困ると声を挙げていかなければならない。放っておけばこのまま何も変わらない。現在、人口減少により、丸子の人口集中地区がなくなってしまっている。平成 22 年の国勢調査を基にした将来推計では上田地域での人口減少が多く見込まれていたが、実際は推計されていた減少人口の 1/3 程度にとどまった。一方で丸子地域の人口減少が推計と比べて、倍となり大きく減少している。丸子地域では行政と住民が人口減少をどう止めるか話し合いを始めようとしている。そのように、一体となって施策を考えていかなければならないことであると考えている。

(委員)中之条・御所商工振興会の現状について、10 年前と比較すると商工業者が半減した。その原因はほとんどが後継者問題であるが、用途地域の関係で工場の新設や拡大ができないということで、地域外へ出ていく問題もある。地域で仕事が見つかり、買い物ができる場所がなくなってきていることはデータを見ても分かること。

(委員)基本的な方針において、地域の個性が輝く生活快適都市“上田”で 3 つの項目が示されている。そのうちの「安全・快適に暮らせる都市づくり」に「スマートウェルネスシティ上田」を盛り込んでいただきたい。また、本計画の目標年次が 2035 年目標となっている。今後、社会状況に応じて見直しをすることになると思うが、その際は高校生など若者の意見を取り入れる機会を設けていただきたい。また、依田窪地域では買い物や病院へ行くのに丸子に行っているという声もあるため、広域的に考えて対応していかなければならないと感じている。

(2) 「上田市空家等対策計画(素案)」について(担当課:建築指導課)

ア 担当課から資料を基に概要の説明

イ 以下、意見質問

(委員)朝日が丘自治会には、異臭を放っている空家がある。行政に言えばどうかなるのか。

(担当課)状況に応じて担当課が違うので、まずはお相談いただきたい。その後、調査や現地確認を行い、状況を判断してからの対応となる。

(委員)空家が放置されているのが現状。その要因として税制の問題が大きいと考える。その部分を変えていかなければならないと思う。

(担当課)空家が増加する 1 つの要因として、税制の問題があると認識している。

(委員)城下まちづくり協議会として市へ要望を出している。中村自治会には通学路になっている場所に空家があり、大変危険である。平成 22 年からお願いしているがなかなか進まない。災害等を考慮すると早急に対応をお願いしたい。

(委員)子どもの安全を考えて、通学路にある空家は常に把握していただき、早急に対応してほしい。

(委員)朝日が丘自治会には危険なブロック塀がある。これらの対策はできるのか。

(担当課)ブロック塀については、個人の所有になるので行政での補強や解体は難しい。ただし、ブロック塀についての補助制度もあるので、それを活用していただきたい。

(委員)空家問題は長期計画で取り組むことではない。目に見えることからでも早急に取り組んでほしい。

(委員)空家は住民に身近な問題。持っている財産をどのように残していくか、住民も考えていかなければならない。

#### 4 会議事項

##### (1) わがまち魅力アップ応援事業について

ア 事務局から、事業概要及び審査方法について説明

イ 以下、質問

(委員)新規募集が終了するのはいつか。

(事務局)平成31年度をもって新規募集終了する予定である。

##### (2) その他

・特になし

#### 5 その他

##### (1) 今後の予定

ア 上田城南地域協議会

(ア) 日時 平成30年7月19日(木) 午前10時から

(イ) 場所 城南公民館

#### 6 閉会